

JPAC

頭痛医療を推進する患者と医療従事者の会

ニュースレター

Vol.22 2019 年 12月 20日

11月15-16日、第47回日本頭痛学会総会（さいたま市）において、JPAC共催イブニングセミナー・市民講座が開催されました。

今回は、初めてJPACメンバーが学会プログラムに登壇し、講演を行いました。市民講座では「子供の頭痛・女性の頭痛 知って治して楽しい生活を」と題して、丸木雄一大会長、坂井文彦先生とともにJPAC共同代表の田畑さんが司会を務めました。

◆第47回日本頭痛学会総会 イブニングセミナー 「患者中心の頭痛医療をめざして（JPAC共催）」



Dr. Leroux カナダ頭痛学会会長、坂井文彦先生と共に

学会初日の11/15（金）に、JPAC共催のイブニングセミナーが行われました。学会プログラムにJPACメンバーが初めて登壇し、会員向けに講演を行いました。座長は浅野賀雄先生（埼玉国際頭痛センター）とJPACから三浦さん（仙台頭痛脳神経クリニック）が務めて下さり、リラックスして臨むことができました。



演題 1. 「頭痛教室・ぴあ」で頭痛への取り組みが変わりました

患者 五十嵐 直美

五十嵐さんは、ご自身の頭痛治療の経験から、頭痛やセルフケアについて学びたいと考えて「頭痛教室・ぴあ」に出会い、頭痛に前向きに取り組むようになった経緯をお話しされました。平田先生からは「頭痛教室はまさに、認知行動療法です」とのコメントを頂きました。

演題2. 頭痛を可視化する～頭痛患者の辛さに対する質的検討

埼玉精神神経センター 税所 裕子

頭痛を可視化する試みとして、第1回JPAC大阪サミットで行った「みんなの思いを形にするワーク」について紹介。ワークで収集した投稿を用いた頭痛患者の辛さに対する質的検討について報告しました。検討の結果、頭痛患者の辛さには「治療の難渋さを伴う症状の辛さ」と「社会的な辛さ」の二つの側面があり、どちらも感情面の辛さが伴うことが示唆されました。より良い頭痛医療には、症状の改善だけでなく患者の辛さを理解し共に治療を進めていくプロセスが重要だと訴えました。



演題3. CGRPの治験に参加して

患者 本郷 美由紀

本郷さんは治験に参加して頭痛が半減した経験から、これまで自身の頭痛がどんなに辛かったか、どれだけ損をしていたかを初めて冷静に判断できるようになったと話されました。とても説得力のあるご発表で、フロアの先生からも「若い頃に自分も頭痛で辛い思いをしたことを思い出した」とコメントがありました。



演題4. 頭痛外来に期待すること

患者 東田 千恵美

東田さんは長い間頭痛やめまいに苦しみ、様々な医療機関を受診しますが診断がつかず、適切な治療にたどり着くのに長い道のりを要しました。頭痛で辛い思いをしている患者が、治療の過程でもさまざまな困難に遭う現状を伝え、頭痛外来には、患者の「良くなりたい」を実現する場であって欲しいと訴えました。



◆市民講座「子供の頭痛・女性の頭痛 知って治して楽しい生活を」



11/16（土）には市民講座が開催され、JPAC共同代表の田畑さんが司会を務め、JPACメンバー全員が聴講しました。会場には市内の医師会の先生方や養護教諭の先生方の他、多くの一般市民の方が来場され、頭痛患者の身近に関わる関係者が一同に会する有意義な機会となりました。開会に先立ち大会長の丸木雄一先生より、さいたま市内の小中学生8,889人を対象に行った調査「さいたまstudy」の結果報告がありました。

講演 1. 保健室での小中学校での頭痛の現状

さいたま市立常盤中学校 養護教諭 難波恵子先生

難波先生は前所属先で小中学生を対象に頭痛の調査をされており、今回のさいたまstudyが市内の現状を表していることを示されました。また保健室での頭痛の生徒への対応の現状と課題についてお話がありました。

講演 2. 小児科医による小児の頭痛の治療方針

広島市民病院 小児科部長 桑原健太郎先生

桑原先生からは、小児の頭痛の基本的な治療のほか、起立性調節障害をはじめとするさまざまな共存症についてお話がありました。一般小児科の先生からも治療についての質問が挙がりました。

特別講演 過小評価されがちな女性の病気～片頭痛も含めて～

参議院議員 自由民主党女性局長 三原じゅん子先生

三原先生はご自身が片頭痛患者であり、現職では政治家として疾病対策や施策に取り組まれています。ご自身の頭痛の辛い体験談や、女性の疾病が過小評価されてしまう現状について海外の例も交えながらお話し頂きました。後にツイッターでも市民講座について発信して下さいます。



編集後記

第47回日本頭痛学会総会では、メンバーとの再会の喜びも束の間、あっという間の2日間でした。ご尽力頂いた皆さま、大変お疲れ様でした。11/16（土）にはJPAC年次総会が開催され、新メンバーを迎えてJPACの新年度がスタートしました。次の活動も楽しみに、皆さんで協力していければと思います。新しい年も宜しく願い申し上げます。

（埼玉精神神経センター 税所裕子）

主催：第47回日本頭痛学会総会



JPAC協賛：  **astellas**  **AMGEN**

BioPharma

 **Otsuka**
大塚製薬